

令和3年度第3回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和4年2月17日（木） 午前10時00分～午前11時00分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5名）

伊 藤 由美子（委員長）
藤 田 素 弘（副委員長）
赤 木 邦 男
小 寺 直 美
山 下 亨

事務局（6名）

大 原 満千子（総務部 契約監理課 課長）
堀 田 和 男（総務部 契約監理課 主幹）
種 村 悟（総務部 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長）
山 本 大 介（総務部 契約監理課 契約調達係）
満 仲 弘（上下水道部 企画総務課 課長）
亀 永 ま こ（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（8名）

加 藤 文 人（上下水道部 水道課 課長）
井 上 泰 男（上下水道部 水道課 課長補佐兼施設係長）
出 口 敏 幸（上下水道部 下水道課 課長）
中 村 敏 己（上下水道部 下水道課 課長補佐兼下水道係長）
近 藤 哲 也（上下水道部 下水道課 課長補佐兼施設係長）
二 木 健（総務部 グリーン資産創造課 主幹）
林 拓 人（総務部 グリーン資産創造課 資産マネジメント係）
林 一 博（市民環境部 清掃センター 所長）

事 項

1 開 会

【事務局】

令和3年度第3回入札監視委員会を開催させていただきます。

なお、本日ですが、総務部長の松岡は市議会本会議出席のため欠席となりましたので、ご報告させていただきます。

では早速ですが、本日の議事につきまして、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、桑名市入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、伊藤委員長から、ご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしく願いいたします。

【委員長】

おはようございます。

いまだ新型コロナウイルスの影響が止まらず、市の方も色々苦勞されていらっしゃると思います。入札情勢の方がどこまで影響を受けているかという、端的にそれが出ていると感じるものではありませんが、各事業者さんにおかれては、色々な意味で感染者が広がっていると動きにくい、ということもあろうかと思います。この入札監視委員の役割がコロナ禍の中で何程のものになるかわかりませんが、真摯に進めさせていただければと思います。

今日のご審議、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長に議事進行をしていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は一般公開となっておりますが、現在、傍聴の希望をされる方はお見えになっておりません。また、途中で傍聴される方がお見えになる可能性もありますので、その時点で傍聴の可否について検討させていただきたいと思います。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

それでは早速審議に入りたいと思います。

議事(1)「入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

事務局の堀田です。よろしくお願いします。では、着座にてご説明させていただきます。資料の1ページをご覧ください。

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について、①指名停止の状況 でございますが、今回の審議対象期間であります令和3年9月から令和3年12月の4ヶ月の間に指名停止を講じた件数は3件となっております。

この3件は、三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市も同等の措置を講じたものでございます。

次に、②談合情報の状況 でございますが、対象期間に寄せられた情報はございませんでした。

説明は以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。

なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は必ずマイクを使用していただきますようお願いいたします。

続きまして、議事（２）「抽出事案の審議について」の項目に移りたいと思います。

審議に先立ちまして抽出案件５件について説明を得るため入札監視委員会条例第６条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔全委員が了承する。〕

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、担当課ごとに入れ替えて審議を行いますので、ご了承願います。

それでは、関係者の方々の出席を求めます。

〔関係職員の入室〕

審議にあたり、今回の５件の抽出理由について、赤木委員から説明いたします。

（２）抽出事案の審議について

【赤木委員】

西部水源地浄水池更新工事につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、発注金額が高額であることと、応札業者の数が１者のみであること。

七取汚水幹線管路施設工事その２につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、応札業者の数が多く、１２者同額であること。

久米西幹線島田汚水管路施設工事（推進工）につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、発注金額が高額であることと、応札業者の中で失格が多いこと。

北部汚水中継ポンプ場真空監視システム改築工事につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、発注金額が高額であることと、応札業者の数が１者のみであること。

桑名市埋立最終処分場擁壁工事詳細設計業務委託につきましては、随意契約であるため。

以上の理由により抽出いたしました。

抽出事案 １ 西部水源地浄水池更新工事

【委員長】

それでは、第１案件「西部水源地浄水池更新工事」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【水道課】

水道課の加藤でございます。よろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。お

手元の資料の 3 ページの概要書をご覧ください。

工事名は西部水源地浄水池更新工事でございます。履行場所につきましては資料 4 ページをご覧ください。桑名市大字芳ヶ崎地内でございます。

3 ページに戻っていただき、履行期間は令和 3 年 10 月 11 日から令和 5 年 10 月 31 日、予算額は 579,000,000 円、設計額は 548,780,100 円となります。

工事概要は西部水源地浄水池の更新工事を行うものです。昭和 44 年に築造された耐震性のない鉄筋コンクリート製の浄水池を撤去し、新たにステンレス製の浄水池を築造する工事となります。

内容は構造物撤去工 1 式、浄水池築造工（1,500 m³）1 式、場内配管工 1 式、電気設備工 1 式、付帯工 1 式でございます。

資料 5 ページに平面図を付けております。中央やや右寄りの四角の部分が新しく新設する浄水池です。6 ページにつきましては、新たな浄水池の本体図になっております。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について ご説明いたします。

資料の 7 ページをご覧ください。本工事は低入札価格調査制度対象案件です。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、水道施設工事業の他、鋼構造物工事及び土木一式工事業の特定許可業者であること、所在地は、県外業者までとし、経審点数は、市内 700 点以上、準市内・県内・県外 1,000 点以上、発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上であること、同種工事施工実績は、平成 18 年度以降、官公庁が発注した案件（受注形態：元請単独）で、水道施設のステンレス製配水池 750 m³以上の施工実績を有することとしています。

技術者要件としては、現場代理人及び主任技術者、監理技術者の専任配置を求め、その他技術者として一般溶接管理技術者及びティグ溶接資格者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、9 ページをご覧ください。

令和 3 年 9 月 28 日に開札を行いましたところ、1 者から応札があり、開札の結果、調査基準価格以上かつ予定価格の範囲内であったため、森松工業株式会社を落札候補者としてしました。入札参加資格を審査した結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き 4 億 7,100 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見等はございませんか。

【赤木委員】

システム等の更新のケースでは、1 者しか応札してこない。というのをお聞きしますが、今回は更新となっていますが新設のような案件で、金額も大きいのに 1 者しか応札してなかったのは、何か理由があるのですか。

【水道課】

発注前にこのような条件の中で、どの位の業者が入札可能かということを調査しておりますが、全国に広げて12者ほど該当する業者さんがありました。しかしながら、今回応札されたのは1者のみでした。応札業者さん以外の業者さんにヒアリングしたところ、全国的に水道施設でのステンレス製の配水池の需要が多くなっているということで、残念ながら条件に合った技術者が既に配置済とのことで応札が出来ないということを聞いております。このような案件は工期が長いということ、また既に他事業の事業体で受注済のため応札が出来なかったのかと推測しております。

【委員長】

ありがとうございました。他に質問ご意見ございませんか。

無いようでしたら、特に問題無いようですのでこの案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

抽出事案 2 七取汚水幹線管路施設工事その2

【委員長】

それでは、次に第2案件「七取汚水幹線管路施設工事その2」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【下水道課】

下水道課の出口でございます。よろしくお願いいたします。10ページの概要書をご覧ください。

第2案件の七取汚水幹線管路施設工事その2につきまして、ご説明させていただきます。

工事名は、七取汚水幹線管路施設工事その2、履行場所は、桑名市多度町福永地内ほかで、次ページの位置図に示した箇所でございます。履行期間は、令和3年9月17日から令和4年1月28日まで、予算額は3,000万円、設計額は、2,231万5,700円でございます。

工事概要ですが、本污水管路は多度町七取地区の農業集落排水施設を廃止し、公共下水道に切り替えるため、既設の農業集落排水管路と公共下水道施設管路とを接続する管路でございます。令和2年度から工事を開始し、全体約1,350mの内これまでに約970mを施工しました。引き続き、本工事で残りの区間を施工し全体が完了するものでございます。

概要としまして、開削工で塩化ビニル管 VP 口径 125 mm を 379.4m 敷設しますほか、付帯工としまして、施工路線の舗装復旧工を施工するものでございます。12ページから17ページは、工事図面でございます。12ページは過年度施工分を含めた全体の平面図になります。図面の右寄りにあります農業集落排水の浄化センターのところが起点、図面の左寄りにあります既設の公共下水道管路への接続点が終点で、起点から終点へ汚水を流す計画としております。13・14ページは今回の工事の平面図、15・16ページは縦断面図、17ページは横断面図でございます。

工事概要の説明は以上でございます。

【事務局】

続きまして、事務局より、発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の 18 ページをご覧ください。入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、土木一式工事業の許可業者であること、所在地要件は、市内までとし、経審点数は、510 点以上、発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上であること、同種工事施工実績は、平成 18 年度以降、官公庁が発注した案件で、土木工事の施工実績を有すること、技術者要件として、現場代理人及び主任技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、19 ページをご覧ください。

令和 3 年 9 月 7 日に開札を行いましたところ、12 者から応札があり、開札の結果、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で、12 者が同額入札のため、くじ引きにより三重同愛建設協同組合を落札候補者に決定し、入札参加資格を審査した結果、適格であったため当該業者を落札者と決定し、税抜き 1,826 万円で契約を締結しました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

【赤木委員】

皆同額になっているのは、積算ソフトの精度の関係ということでしょうか。

【下水道課】

ご指摘のとおりです。工事の積算内容について、同種の工事の事例が過去からたくさんありますので、最低制限価格の推定も積算ソフトで容易に出来たのかなと考えています。

【委員】

落札された三重同愛建設協同組合とはどのような会社ですか。

【事務局】

市内の土木工事業を請けている業者さんで、市の工事でも過去にも多数実績があります。

【委員】

1 者ですか。

【事務局】

はい。この名称で登記をされていて 1 者です。

【委員長】

ありがとうございました。他にご意見、ご質問等いかがでしょうか。

積算ソフトの精度が高いほど、また同種工事が多いほど、最低制限価格が計算上でできてしまう、ということで談合防止という意味では、くじ引きという方法を取っているのですが、役割は果たしているのかと思いますが、同じ金額がこれだけ並ぶと違和感を覚えます。他に何か良い方法があればいいかと思っています。

他にご意見ご質問、いかがでしょうか。無いようでしたら、この案件についても特に問

題ないということによろしいでしょうか。なければ問題なしと致します。

抽出事案 3 久米西幹線島田污水管路施設工事（推進工）

【委員長】

それでは次に第3案件「久米西幹線島田污水管路施設工事（推進工）」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【下水道課】

引き続き、下水道課の出口よりご説明申し上げます。よろしくお願いいたします。

資料 20 ページの概要書をご覧ください。

工事名は、久米西幹線島田污水管路施設工事（推進工）、履行場所は、桑名市大字島田地内、次ページの位置図に示したところです。履行期間は、令和3年10月11日から令和4年2月28日まででございます。予算額は1億円、設計額は9,001万6,300円でございます。

工事概要ですが、本污水管路は施工箇所周辺の31.8haの計画区域を対象としまして、県道桑名大安線、東西方向の広い道路になりますが、ここに埋設されている三重県管理の北勢沿岸流域下水道の幹線管路へ接続するものでございます。内容としまして、小口径管推進工 泥水方式 ヒューム管 鉄筋コンクリート管ですが、口径300mmが延長136.7m、鋼製さや管推進工 ボーリング方式 口径600mmが延長5.9m、小型立坑鋼製ケーシング工これは推進工事を施工する掘削機の発信用のピットで3箇所、その他補助地盤改良工（薬液注入工）1式、1号組立マンホール設置工1箇所、2号組立マンホール設置工2箇所をそれぞれ施工するものでございます。22ページからは工事図面になります。22ページは県道区間、23ページは市道区間のそれぞれ平面図、縦断面図、横断面図になります。路面からの深さは約3.5m～5.5mのところ下水道管を埋設するものでございます。工事概要は以上でございます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について、ご説明いたします。

資料の24ページをご覧ください。入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、土木工事業の登録がある業者であること、所在地要件は市内までとし、経審点数は730点以上、発注業者の完成工事高は予定価格の2分の1以上であること、同種工事施工実績として平成18年度以降、官公庁の発注案件で中大口径管推進工法もしくは推進施工延長10m以下を除く小口径管推進工法のいずれかの施工実績を要することとしています。技術者要件としては、現場代理人と監理技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございますが、25ページをご覧ください。

令和3年9月28日に開札を行いましたところ、4者から応札があり、2者が最低制限価格を下回ったため失格となり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で、2者が同額入

札のため、くじ引きにより株式会社伊藤水道建設を落札候補者としました。入札参加資格を審査した結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き 7,447 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

【委員】

2点ございまして、まず1点目は、価格が比較的高いのに4者しか応札がなかった理由は何か。2点目は失格が2者出ているのは積算ソフトの微妙なところの違いでしょうか。

【下水道課】

まず1点目のご質問ですが、発注要件では市内土木業者で推進工法の実績を求めており、コリンズにて確認したところ要件を満たす業者は8者該当がありました。技術者の確保などの関係でその中で4者しか応札されなかったのかと推測されます。2点目に関しては工事の積算の中で、諸経費の共通仮設費の中に重機運搬費や薬液注入に伴う水質調査等別途で積み上げる経費があり、積算ソフトで最低制限価格ぴったりの金額を算出するのは難しかったのかと思います。以上です。

【委員】

概要書の予算額、設計額、発注公告の予定価格、入札経過表の予定価格がそれぞれ違うのですが、入札には影響ないのですか。

【下水道課】

発注公告の予定価格は税込で、入札経過表の予定価格は税抜価格なので一致はしています。

【委員】

予算額と設計額について、設計額というのは設計をした施工に必要な全額ですか。

【下水道課】

予算額は概算にて見積を作って議会承認をいただいて確保している金額です。設計額は実際に工事の材料や施工経費など一切、積算基準に基づいて積算した結果が設計額となり、発注する必要な工事費となります。

【委員】

他にご意見ご質問などよろしいでしょうか。

では、特に問題ないようですので、この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。では、問題なしとします。

抽出事案 4 北部汚水中継ポンプ場真空監視システム改築工事

【委員長】

それでは、次に第4案件「北部汚水中継ポンプ場真空監視システム改築工事」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過につ

いて説明をお願いいたします。

【下水道課】

引き続き下水道課の出口よりご説明申し上げます。よろしくお願いいたします。

資料 26 ページの概要書をご覧ください。

工事名は、北部汚水中継ポンプ場真空監視システム改築工事で、履行場所は、桑名市長島町西川地内ほか、次の 27 ページの位置図の箇所である北部汚水中継ポンプ場及び 28 ページの色付けの箇所である長島町北部の真空式下水道システムの供用区域でございます。履行期間は、令和 3 年 12 月 27 日から令和 5 年 1 月 31 日までで、令和 3 年度から 4 年度までの債務負担行為により施工するものでございます。予算額 6,073 万円、設計額 6,003 万 5,800 円でございます。

工事概要ですが、本工事は、真空式下水道を採用、長島町北部地区の汚水中継ポンプ場に設置しております、真空監視システム、及び関連機器の改築工事を行うものでございます。真空式下水道とは、管路の高低差により汚水を流す自然流下方式やポンプを用いて流す圧送方式とは異なり、管路内を真空状態にして対象地区の各戸に設置されております真空弁の開放による空気圧を利用して汚水を移動させる方式の下水道システムでございます。

工事内容は、対象地区の各戸に設置されております真空弁ユニットの状況を監視する通報装置 158 か所から発信された信号を北部汚水中継ポンプ場に設置した監視装置で受信して、常時パソコン等の端末から対象区域全体の真空弁ユニットの状態を監視できるよう、一連のシステムの改築を行うものでございます。

内容として、概要書に記載のとおり真空弁ユニット監視盤 1 式、ゲートウェイ 1 式、既設制御盤機能増設 1 式、真空弁ユニット通報装置 1 式、中継局装置 1 式でございます。

29 ページにシステムの系統図を掲載しました。既設システムは平成 21 年度の設置から 12 年が経過し標準耐用年数の 7 年を超過しておりますことから本市の下水道施設の長期的な維持管理計画でありますストックマネジメント計画に基づきまして本工事において改築を行い、真空監視システムの信頼性向上を図り、安定的な施設の維持管理を行うものでございます。

工事概要の説明は以上でございます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について説明いたします。

資料の 30 ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。入札参加資格要件は、電気通信工事の許可業者であること、所在地は、県外までとし、完成工事高は予定価格の 2 分の 1 以上であること、同種工事施工実績は平成 18 年度以降、官公庁が発注した案件で無線電気通信工事もしくはデータ通信設備工事のいずれかの施工実績を有することとしています。技術者要件としては、現場代理人と主任技術者の配置を求め、4,000 万円以上の契約を予定する場合、主任技術者に代えて監理技術者を専任配置することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、31 ページをご覧ください。

令和 3 年 12 月 14 日に開札を行いましたところ、1 者から応札があり最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内であったため、北菱電興株式会社を落札候補者としました。その後、事後審査を行った結果、適格であったため当該業者を落札業者に決定し、税抜き 5,297 万 4,000 円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

【委員】

システム更新の関係で、もともとある業者がしていたということで、同じ業者さんがやらざるを得ないため 1 者しかなかったのであればそれでよいのですが、違う業者の場合でしたら 1 者しか応札がないのはどうしてか教えてください。

【下水道課】

設計の段階で、色々な規格の通信システムを検討していた中で、920MHz の規格のものが一番優れているということで、設計時に採用しております。実際、製造メーカーが限られている中で、電気通信業の施工業者さんを情報収集したところ、県内業者で施工可能な業者は 1 者しかなく、県外まで広げました。県外業者を含めて確認したところ、最低 3 者までは施工可能ということでした。結果 1 者しか手を挙げられなかったのですが、競争入札にして 3 者までは応札可能だったと認識しています。

【委員】

真空弁監視システムというのは、真空弁を操作するのではなく、誤作動しないように監視するものですか。2 年かかっているのですが、こんなにかかるものですか。

【下水道課】

まず、中継ポンプ場にある監視盤がメーカーで製造するのに長い期間がかかります。また、真空弁は柵のところに弁がついていて、開閉が正常に出来るかを監視する装置ですが、この数が 158 個あり施工に時間がかかるということで年度またぎの工期を設定しています。

【委員】

監視も操作もするのですか。

【下水道課】

真空弁自体は自然に動きますが、その動きに異常があるかどうかを監視するものです。

【委員】

真空弁自体は作るのですか。真空弁の工事と監視システムの工事は別ですか。

【下水道課】

別です。監視装置だけです。

【委員長】

158 個あり、時間がかかっているとのことですが、その間は順番に進んでいると、出来ているところと出来ていないところとあると思いますが、その間は既存のシステムが動いているのですか。

【下水道課】

既存のシステムがございますので、そちらで対応しております。

【委員長】

他にご意見、ご質問よろしいでしょうか。

この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。では問題なしとします。

抽出事案 5 桑名市埋立最終処分場擁壁工事詳細設計業務委託

【委員長】

それでは次に第5案件「桑名市埋立最終処分場擁壁工事詳細設計業務委託」について発注担当課から委託概要と随意契約理由の説明をしていただき、その後事務局から見積経過について説明をお願いいたします。

【グリーン資産創造課】

グリーン資産創造課の二木でございます。よろしくお願いいたします。

桑名市埋立最終処分場擁壁工事詳細設計業務委託についてご説明申し上げます。

資料 32 ページの概要書をご覧ください。

件名は、桑名市埋立最終処分場擁壁工事詳細設計業務委託、履行場所は、桑名市大字東汰上字屋敷下地内、次ページが位置図となっております。履行期間は、令和3年10月18日から履行期間の変更を1度行っておりまして令和4年2月18日までとなっております。予算額は、税込613万7,000円、設計額は、税込300万5,200円です。

業務概要につきましては、桑名市が管理運営を行っております、埋立最終処分場において、一般廃棄物埋立最終処分場計画書に基づき、周辺の道路及び田畑への土砂流出等の危険性を排除し、安全で適切な施工管理を行うため、埋立最終処分場の外周に擁壁を設置することを目的とした擁壁工事の詳細設計を行うものです。

主な設計内容といたしましてはプレキャストL字型擁壁 全長310m程度、地盤面からの高さ2.0m、フェンス設置、側溝設置、法面整形、地盤改良でございます。

業務の概要は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局より見積経過及び結果についてご説明いたします。

資料の35ページをご覧ください。

令和3年10月12日に見積合わせを行い、指名業者の株式会社見取コンサルタント 桑名営業所から見積を徴した結果、予定価格の範囲内でしたので、税抜き260万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

【委員】

予備設計と詳細設計があるのですが、業者さんからすれば予備設計を取れば、詳細設計も確定するのか。それとも、そういったことは関係ないのか。というのが1点目の質問です。

2点目はもしそうであれば、予備設計、詳細設計を合わせて入札はできないのかということです。

【グリーン資産創造課】

ご質問についてですが、予備設計をした事業者と詳細設計をした業者が同類の事業者になっていることについて、全て予備設計をした業者が詳細設計をしているわけではありません。その場合に関しては、予備設計をしてから複数年たっている場合は違う自業者で一般入札をする場合があると思いますが、今回に関しては、前年度に予備設計した事業者が翌年に詳細設計をしている。近々での発注ということもありますので、同類の事業者で随意契約をすることが、現場の状況にも精通し、設計内容も担当者も変わっていないため熟知しており、重複する作業も省略できる観点から随意契約をさせていただきました。

その際、予備設計と詳細設計は同時に発注できないのかという質問に関してですが、あくまでも予備設計した内容を市の方で精査して、どういう手法・内容でいくかということによっても詳細設計の内容は変わってくるので、同時に入札は難しいと思います。

【委員】

予算額に対して設計額が48.7%で半額以下であること、また随意契約になったというのは、金額から見ると不落になるのではないかと推測されますが、いかがでしょうか。

【グリーン資産創造課】

概要書の予算額はあくまで令和2年度に詳細設計での工法は決めかねていた段階で最大の設計額で取っておきました。今年度に入って、どのような発注方法にするか精査したところ、そこまで予算を使わなくても詳細設計できるという内容に変わりましたので、予定額は270万、契約金額260万ということで落札率は95%位となっております。予算取りの時、甘く見積っているかと言われればそうかも知れませんが、その後精査して、そこまで予算が必要なかったということでご理解いただければと思います。

【委員】

随契理由を拝見し、あくまで推測ですが、金額的に不落になって随契になったのではないかと思います。いかがでしょうか。

【グリーン資産創造課】

随契理由としては、理由書にも記載のとおり、予備設計した事業者が現場に精通しており、工程上も余分な設計をせずとも済むというところの顕在性もあり、随契をしました。また、不落になって随契にしたわけではなく、最初から随契で進めておりましたのでご理解いただければと思います。

【委員】

随契にすることで、予定価格を抑えることができるという判断でよろしいでしょうか。

【グリーン資産創造課】

おっしゃる通りです。今回は予備設計した事業者が詳細設計することによって、設計範囲における概要の把握や現地確認を行うことも、同業者であれば不要となるということで、経済的にも軽減が図れるということで、随意契約にしました。

【委員長】

もし、随意契約でなかったら、予定価格は増えていたということですか。随意契約するかによって予定価格が変わるものですか。

【グリーン資産創造課】

はい。概算ではありますが、随意契約しない場合は、12～13 万円位増額で発注することになっていたと思います。

【委員長】

他にご意見、ご質問いかがでしょうか。では、この案件についても問題なし、といたします。以上を持ちまして、抽出案件の審議を終了いたします。

次回の審議案件の抽出は、順番により小寺委員によりお願いいたします。

(3) その他

【委員長】

それでは(3)「その他」ですが委員の皆様何かございますか。

事務局から何かありますか。

【事務局】

特にございません。

3 閉 会

【委員長】

ありがとうございました。それでは令和3年度第3回桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。なお、本日の審議概要は後日、事務局でまとめさせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。